

# 設定

## 一般設定

### ユーザーインターフェイス

COMODO メッセージセンターカラの通知を表示する

OFF

通知メッセージを表示する

OFF

起動時によろこそ画面を表示する

OFF

デスクトップウィジェットを表示する

OFF

タスクが最小化またはバックグラウンドに送信された時に情報メッセージを表示する

OFF

警告が表示された時にサウンドを再生する

OFF

メイン画面に「アップグレード」という項目を表示する

OFF

### 更新

プログラムの更新を自動的にダウンロードする

OFF

重要な状況でプログラム更新を自動的に実行する

OFF

### ウイルス対策

各スキャン毎に設定ができる。

#### スキャン (手動スキャン)

手動スキャンの実行前にウイルスデータベースをアップデートする :OFF

### 常駐保護機能

ウイルス対策の警告を表示しない

OFF

### ファイアウォール

#### ファイアウォール設定

警告のポップアップ画面を表示しない

OFF

安全なアプリケーションのルールを作成する

OFF  
警告の頻度レベルを設定する  
ON 高

## ネットワークゾーン

プライベートネットワークの自動検出を有効にする  
OFF

## HIPS

### HIPS 設定

HIPS を有効にする  
OFF

## 仮想化

### 自動仮想化保護機能

自動仮想化保護機能を有効にする  
OFF

## ファイル評価

### ファイル評価設定

不明ファイルのメタデータをクラウドサーバにアップロードする  
OFF

## 高度な保護

### VirusScope

VirusScope を有効にする  
OFF

## 接続受信について

ファイアーウォールに関するタスク -> ステルスポート -> 受信接続を警告する

を選択。これで、接続された場合に選択しが表示されるようになる。  
バージョンによっては、以下のように表現が異なる。

ファイアーウォールタブ -> ステルスポートウィザード -> 受信接続があるたびにアラートを表示し、基準ごとにポートをステルス状態にする

## ping を通したい場合

ファイアーウォールタブ -> ネットワークセキュリティポリシー -> 全般ルール

に必要な応じて、ICMP を一部の IP から許可する。

## コマンドラインでの検索

"C:¥Program Files¥COMODO¥COMODO Internet Security¥cavscan.exe" 検索対象

を実行することでコマンドラインから検索を実行することができる。

ただし、引数は1つしか受け取らない。

もし、バッチ等で複数のファイルを検索する場合は以下のようにする。

並列処理しない場合（コマンドプロンプトが残る）

```
@echo off
for %%i in (*) do (
    C:¥Program Files¥COMODO¥COMODO Internet Security¥cavscan.exe" %%i
)
```

並列処理する場合（コマンドプロンプトが残らない）

```
@echo off
for %%i in (*) do (
    start "" "C:¥Program Files¥COMODO¥COMODO Internet Security¥cavscan.exe" %%i
)
```

## インストーラのオプション

cis\_setup?x64.msi にオプションを渡す場合

```
msiexec /I cis_setup_x64.msi INSTALLANTIVIRUS=0 INSTALLFIREWALL=1 FWFEATURES=1 THREATCASTFEATURE=2
INSTALLDEFHOMEPAGE=0 INSTALLASKDEFSEARCH=0
```

cmdinstall.exe にオプションを渡す場合

comodo のインストーラを 7z など解凍すると

```
cmdinstall.exe
```

が展開される。この cmdinstall.exe にオプションを指定するとインストールの挙動を変えられる。  
例

```
cmdinstall.exe -theme lycia -type alone -mode cispremium
cmdinstall.exe -theme lycia -type alone -mode cfwfree
cmdinstall.exe -theme lycia -type alone -mode cispremium -cisoffersonly
```

## アンインストール時の注意

- ・余計なアプリを全て終了し、CIS も終了（アイコンを右クリックして、終了を選択）してからアンインストールを行う

- ・「ローカルエリアネットワーク」を無効にしてからアンインストールを行うと、再アクティベーションが必要になることがある
- ・上記理由から「ローカルエリアネットワーク」を無効にせずに、LAN ケーブルを抜くなどしてからアンインストールを行う

## Comodo Internet Security 8 のインストールの注意

error 1603 が発生してインストールが完了しないことがある。

レジストリ等を綺麗にしてもイマイチ・・・。

Comodo Internet Security 7 のインストーラを使うと上手くいくので、7を入れてバージョンアップする。

## Comodo Internet Security 5.9 をインストール

インストール時に余計なものがインストールされるので注意。

インストール時に一番下にある「Customize Installer」を選択し、

- ・最初のタブで、余計なアプリのチェックを外し
- ・二つ目のタブで Defense+ のチェックを外す

## Defense+ の機能を完全に停止する

[http://www4.atwiki.jp/comodopf/pages/36.html#id\\_1d8ac3cd](http://www4.atwiki.jp/comodopf/pages/36.html#id_1d8ac3cd)

Defense+ を完全に停止する。Defense+ がらみの問題の最終手段として有効。

Defense+ を単に無効にするだけでは Defense+ は停止されない。

DEFENSE+ セクション    詳細設定    Defense+ 設定    全般設定    Defense+ を完全に停止する  
PC を再起動。

Defense+ の停止で解決しない場合は

実行イメージコントロール    シェルコードインジェクションの検出(バッファオーバーフロー保護)のチェック  
を外す。

また、問題解決の最終手段としては CIS のクリーンインストールが一番の近道の場合もある。